

第3回高知コアセンター講演会

# たぐり出せ!地球環境の記憶

## ～本質は細部に宿る～

### イントロダクション

高知の海から探る環境の記憶

徳山 英一 (高知大学)

サンゴに秘められた海洋酸性化の記憶

石川 剛志 (海洋研究開発機構)

海底7,000mに運ばれる環境の記憶

村山 雅史 (高知大学)

### パネルディスカッション

人類は本当に地球環境に影響を及ぼしているのか?

コーディネーター: 木下 正高 (海洋研究開発機構)

竹村 志麻 (KUTVテレビ高知)

平成27年2月22日(日)

13:00~16:00(開場12:30)

高新文化ホール

入場無料・定員200席

共同主催:

国立大学法人高知大学海洋コア総合研究センター 独立行政法人海洋研究開発機構高知コア研究所

お問い合わせ先

国立大学法人高知大学 研究国際部 海洋コア室 (海洋コア総合研究センター)

TEL: 088-864-6712 E-mail: kk21@kochi-u.ac.jp

独立行政法人海洋研究開発機構 高知コア研究所 管理課

TEL: 088-878-2189 E-mail: kcc.contact@jamstec.go.jp



## 第3回高知コアセンター講演会

# たぐり出せ！地球環境の記憶 ～本質は細部に宿る～

### プログラム

13:00 開会 開会のご挨拶 高知大学 学長 脇口 宏  
来賓ご挨拶

13:15 イントロダクション 「高知の海から探る環境の記憶」

高知大学 海洋コア総合研究センター センター長 徳山 英一

\*高知県沖太平洋は、我々に海の恵をもたらす黒潮が流れる海です。一方、そこには南方からフィリピン海プレートが沈み込んでおり、巨大地震が繰り返す荒ぶる海でもあります。今回は、高知の海から探る環境の記憶の一例として、高知沖土佐湾の堆積物から、高知を襲った過去の巨大地震の爪痕について紹介します。



13:30～14:00 講演1 「サンゴに秘められた海洋酸性化の記憶」

海洋研究開発機構高知コア研究所 グループリーダー 石川 剛志

\*最近、海洋の酸性化が生態系に与える影響が懸念されています。酸性化は過去の海洋でも起こっており、サンゴの殻に化学的情報として記憶されています。最先端の手法により、掘削で得られたサンゴから過去の海洋酸性化の記憶をたぐり出します。



14:00～14:30 講演2 「海底7,000mに運ばれる環境の記憶」

高知大学 海洋コア総合研究センター 教授 村山 雅史

\*海底の堆積物は、いろいろな粒子で構成されています。海に運ばれた粒子が、時間をかけて水中を沈んで堆積したものです。このような粒子が、深海底までどのように沈んでいくか、お話しします。



14:30～15:00 休憩

15:00～15:50 パネルディスカッション 「人類は本当に地球環境に影響を及ぼしているのか？」

コーディネータ 海洋研究開発機構高知コア研究所 所長 木下 正高

KUTV テレビ高知 アナウンサー 竹村 志麻



15:55 閉会 閉会のご挨拶 海洋研究開発機構 理事 白山 義久



#### ■ 司会進行

KUTV テレビ高知アナウンサー 竹村 志麻

高知市出身。お茶の水女子大学卒業後、南日本放送を経て KUTV テレビ高知アナウンサー。現在、夕方のニュース番組「イブニングK O C H I」のキャスターとして活躍中。

### アクセス

#### 高新文化ホール（高知新聞放送会館 東館7階）

TEL：088-825-4321

高知駅より

○土佐鉄路面電車 はりまや橋乗り換え

高知城前電停より徒歩1分

○タクシー 約15分

\*駐車場のご案内

専用駐車場はありませんが、近くには有料駐車場がございます。



高知コアセンター (KCC) は、国立大学法人高知大学と独立行政法人海洋研究開発機構が共同で運営する研究施設の名称です。二つの法人が「裾野科学研究の中核拠点」という共通の目的を持って研究を進め、施設や研究機器を共同運営しています。